

世界に誇る舞踏カンパニー「大駱駝艦」が「えんぶり」と出会う！

やいやいと申したりやい  
雪の匂いに ジャンギの音  
ずって うねって ふんて ふるえる  
えんぶり摺りの藤九郎が  
まいりて あそびて 願いてそうろう

大駱駝艦 舞踏公演

お  
お  
藤九郎  
とま

大地にかたどる幾重の足あと  
ざっす ざっす と  
朝もやの向こう 生命のこんせき  
亡き人歌う 鼓膜の声は  
親が子おもう 八百年の祈り  
東西東西  
生まれて踊って死んでく祝いに  
松の葉をば手に持ちて  
白き世界を  
祝うてかざるものかなと



振付・演出・美術  
田村一行

出演

田村一行

塩谷智司

若羽幸平

阿日虎南

我妻恵美子

高桑晶子

銚久奈緒美

藤本 梓

音楽

土井啓輔

衣裳

富永美夏

監修

磨赤兒

主催 八戸市、株式会社アート&コミュニティ(八戸市南郷文化ホール指定管理者) 助成 平成30年度 文化庁文化芸術創造拠点形成事業 企画協力 大駱駝艦 協力 荒谷えんぶり組

# 世界に誇る舞踏カンパニー「大駱駝艦」が「えんぶり」と出会う！



青森県八戸地方を代表する民俗芸能「えんぶり」。  
田村一行が、南郷島守地区の荒谷えんぶり組に伝わる  
「おじょう藤九郎」の伝承に着目し、  
独自の解釈を加えて、2014年に発表した舞踏作品。

南郷文化ホールと東京の大駱駝艦・壺中天で上演、好評を博し、  
2018年、パワーアップして蘇えます！

東北の風土や文化に根ざして誕生した「えんぶり」と「舞踏」。  
それぞれが持つ不思議なエネルギーによって  
見たこともない幻想的な世界が広がります！

## 舞踏とは

1950年代に日本で生まれた踊りの一つです。大駱駝艦は1972年、鷹赤兒によって旗揚げされ、以来「舞踏界」を牽引してきました。白塗り・剃髪・裸体などの外見的特徴がインパクトを与えますが、その根本にある、個人ならではの肉体と向き合う方法や、根源的な背景へアプローチしていくという考え方は、広く芸術の世界に通じ、幅広いジャンルの人々に影響を与え続けてきました。現在では世界各国から注目される、日本を代表する表現形態の一つとなっています。

## えんぶりとは

青森県八戸地方を代表する民俗芸能で、国の重要無形民俗文化財に指定されており、青森冬の三大まつり、みちのく五大雪まつりに数えられています。えんぶりは、その年の豊作を祈願するための舞で、太夫と呼ばれる舞手が馬の頭を象った華やかな烏帽子を被り、頭を大きく振る独特の舞が大きな特徴です。その舞は、稲作の一連の動作である、種まきや田植えなどの動作を表現したものです。

## INFORMATION

**日時** 2018年11月3日(土) 17:30開演(17:00開場)  
4日(日) 13:30開演(13:00開場)

**会場** 八戸市南郷文化ホール

**料金** 一般：前売 1,500円 当日 2,000円  
高校生以下：無料(要整理券) ※税込・全席自由

**取扱先** 八戸市南郷文化ホール  
八戸市公会堂  
八戸ポータルミュージアムはっち  
JCDNダンスリザーブWEB ※当日精算  
<http://dance.jcdn.org/>  
南郷アートプロジェクトメール ※当日精算  
[75info@nangoartproject.jp](mailto:75info@nangoartproject.jp)

**問合せ** 八戸市南郷文化ホール  
〒031-0111 八戸市南郷大字市野沢字中市野沢24-1  
TEL：0178-60-8080 Mail：75info@nangoartproject.jp  
※休館日(毎週月曜日但し、祝日等に当たる場合は翌日火曜日)を除く、午前9時から午後5時までにご連絡ください。

## ACCESS

シャトルバス 南郷文化ホールへの無料シャトルバスを運行します。  
★要整理券・先着54名、チケット取扱先でお申込みください。

3日

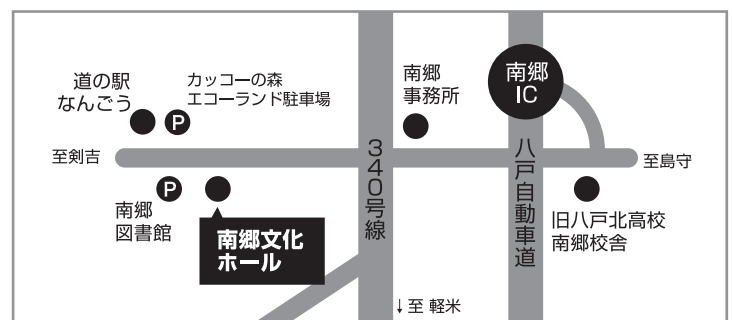
【往路】●八戸駅西口(16:00)  
➔八戸市庁前バス停(16:30発)  
➔南郷文化ホール(17:00着)

【復路】●公演終了後に発車。  
➔八戸市庁前バス停  
➔八戸駅西口

4日

【往路】●八戸駅西口(12:00)  
➔八戸市庁前バス停(12:30発)  
➔南郷文化ホール(13:00着)

【復路】●公演終了後に発車。  
➔八戸市庁前バス停  
➔八戸駅西口



◎駐車場：カッコーの森エコーランド、南郷図書館駐車場をご利用ください。



## ▶なんごう小さな芸術祭

青森県八戸市南郷地域を舞台に2011年からスタートした南郷アートプロジェクトは、この秋、「なんごう小さな芸術祭」を開催します。地域の歴史や自然、人々の営みといたった「風土」と出会う、公演・展示・ワークショップ・ツアーなどの様々なプログラム、地域とアートが等価にあるようなここにしかない表現を、ゆっくり、じっくりと楽しむ芸術祭です。

